

アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	豊浦町アイヌ施策総合対策事業
2 事業の種類	(文化振興事業)(<u>地域・産業振興事業</u>)(<u>コミュニティ活動支援事業</u>) の別
3 事業の目的	アイヌ文化等の次世代への承継を確実なものとするとともに、地域に存するアイヌ文化等を発信し、内外におけるアイヌ関連の交流活動を活発化させ、魅力ある地域社会の形成を目的とする。
4 事業の概要	<p>(1)文化振興事業</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>①水産物アイヌブランド化事業</p> <p>○事業実施主体 豊浦町</p> <p>○事業の実施場所 豊浦町海域</p> <p>○事業の実施期間 交付決定日～令和5年3月</p> <p>○事業の内容と考え方 ホタテ貝養殖漁業における稚貝へい死に伴い、本町に適する可能性のある稚貝産地を1地域以上選定し、調査研究を行う。</p> <p>②アイヌ文様ラッピングバス事業</p> <p>○事業実施主体 豊浦町</p> <p>○事業の実施場所 豊浦町一円</p> <p>○事業の実施期間 交付決定日～令和5年3月</p> <p>○事業の内容と考え方 生活館(地域住民交流の場)を拠点に、アイヌの人々の利便性を確保するバス事業を行う。バスの利用予定者数はアイヌの方々を含む年間約12,900人を目標としており、町内循環型の公共交通網整備と併せ、民族共生象徴空間「ウポポイ」からの観光客にも対応できるものである。</p>

	<p>③「イランカラプテ音楽祭in豊浦」開催事業</p> <p>○事業実施主体 豊浦町</p> <p>○事業の実施場所 豊浦町一円</p> <p>○事業の実施期間 交付決定日～令和5年3月</p> <p>○事業の内容と考え方 本音楽祭は国内外の音楽家を招き、「千の風になって」の訳詞・作曲家である故・新井満氏とユーカラ劇脚本・演出家のアイヌ民族の秋辺日出男氏が製作した「イランカラプテ～君に逢えてよかった～」をイメージソングとして演奏し、町内外の方にアイヌ関連の音楽や舞踊を通じてアイヌ文化に親しみ、理解を深めてもらう。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業</p> <p>①アイヌ文化伝承者育成事業</p> <p>○事業実施主体 豊浦町</p> <p>○事業の実施場所 豊浦町礼文華海浜公園</p> <p>○事業の実施期間 交付決定日～令和5年3月</p> <p>○事業の内容と考え方 失われつつある本町のアイヌ文化や伝統儀式を受け継ぐため、アイヌの人たちを対象としたアイヌ文化伝承者育成事業を実施し、アイヌ文化の振興と次世代への継承を図る。</p>
<p>5 アイヌ施策推進地域計画における記載</p>	<p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ アイヌ文化関連の観光プロモーション事業・・・伝統的儀礼の開催場所となっている礼文華海浜公園の再整備や、アイヌゆかりの地などを巡る観光ルートの開発、施設内外の案内板設置等を行う。 ■ 水産物アイヌブランド化事業・・・ホタテ貝養殖の稚貝へい死による調査研究を行うとともに、本事業によりホタテ貝養殖水揚げ量を安定させ、アイヌブランドとしての商品開発及び販売会を行う。 ■ ミュージカル「松浦武四郎ーカイ・大地との約束ー」開催事業・・・町内におけるアイヌ文化の機運を高めるため、豊浦町が主催でわらび座のミュージカルを開催する。

	<p>■ アイヌ文様ラッピングバス事業・・・生活館（地域住民交流の場）を拠点にアイヌの人々の利便性を確保するバス事業を行う。</p> <p>■ 「イランカラプテ音楽祭in豊浦」開催事業・・・町内外の方にアイヌ関連の音楽や舞踊を通じてアイヌ文化に親しみ、理解を深めてもらうため、豊浦町が主催で音楽祭を開催する。</p> <p>4-4 地域内若しくは地域間の交流又は国際交流の促進に資する事業</p> <p>■ 豊浦町礼文華生活館改修事業・・・北海道豊浦アイヌ協会の活動拠点となっている礼文華生活館の改修を行う。</p> <p>■ アイヌ文化伝承者育成事業・・・豊浦アイヌ協会会員に対する伝統的儀式等の伝承者育成を行う。</p>
6 事業の成果目標等	
(1) 成果目標の達成に向けた工程	<p>(1)文化振興事業</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>①アイヌ文化関連の観光プロモーション事業</p> <p>アイヌ文化関連の観光プロモーションを実施することによって、アイヌの人々が誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を図る事業であり、伝統儀礼の開催場所となっている礼文華海浜公園の利用者数が増えると考えられる。</p> <p>②水産物アイヌブランド化事業</p> <p>アイヌ文化でもある養殖方法の承継とブランド化を図ることによって、アイヌの人々が誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を図るものである。</p> <p>③アイヌ文様ラッピングバス事業</p> <p>アイヌの人々の利便性と生活の質を高めることによって、アイヌの人々が誇りを持って生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を図る事業であり、アイヌ文様ラッピングバスの利用者数が増えると考えられる。</p> <p>④「イランカラプテ音楽祭in豊浦」開催事業</p> <p>アイヌ関連の音楽祭を開催することによって、町内外における本町のアイヌ文化やアイヌ文化全体への関心と機運が高められる。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業</p> <p>①アイヌ文化伝承者育成事業</p> <p>アイヌ協会会員に対し、失われつつある本町のアイヌ文化や伝統儀式を受け継ぐための育成事業を行うことによって、アイヌの人々が誇りを持って生活するこ</p>

	とができ、その誇りが尊重される社会の実現を図るものである。
(2)成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)	<p>(1)文化振興事業</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>①礼文華海浜公園利用者数</p> <p>(現状値) 令和元年度 2,700人／年間</p> <p>(中間目標)令和3年度 592人／年間</p> <p>(最終目標)令和5年度 4,320人／年間</p> <p>成果目標は達成する見込み。</p> <p>②・豊浦町に適した稚貝の選択</p> <p>・ホタテのアイヌブランド関係商品開発数・販売会実施回数</p> <p>(現状値) 令和元年度 ー</p> <p>(中間目標)令和3年度 豊浦町に適する可能性のある稚貝産地を1地域以上選定</p> <p>(最終目標)令和5年度 豊浦町に適する可能性のある稚貝産地を1地域以上選定</p> <p>商品開発数 1商品／年間</p> <p>販売会実施回数 1回／年間</p> <p>成果目標は達成する見込み。</p> <p>③アイヌ文様ラッピングバス利用者数</p> <p>(現状値) 令和元年度 12,500人／年間</p> <p>(中間目標)令和3年度 12,700人／年間</p> <p>(最終目標)令和5年度 12,900人／年間</p> <p>成果目標は達成する見込み。</p> <p>(3)コミュニティ活動支援事業</p> <p>礼文華生活館利用者数</p> <p>(現状値) 令和元年度 3,000人／年間</p> <p>(中間目標)令和3年度 1,000人／年間</p> <p>(最終目標)令和5年度 1,100人／年間</p> <p>成果目標は達成する見込み。</p>
(3)成果目標の確認方法	KPIである礼文華海浜公園利用者数、ホタテのアイヌブランド関係商品開発数及び販売会実施回数、アイヌ文様ラッピングバス利用者数、礼文華生活館利用者数について、実績値を公表する。また、市町村の外部有識者等により、

	目標の達成状況等について検証を行い、改善点を踏まえて計画期間内の事業実施等に反映する。
7 地域の概要	
(1)地域における アイヌ文化等の現 状及び課題	<p>豊浦町においては、豊浦の旧名「ベンベ」や「レブンケプ」など40か所ほどのアイヌ語由来の地名が残されているとともに、明治初期までに、町内の本町地区や礼文華地区などにコタンが存在していたが、礼文華地区においては30戸ほどからなるレブンケプコタンがあったとされ、歴史的にアイヌ文化等に関わりが深い。</p> <p>豊浦町には昭和57年3月2日に社団法人北海道ウタリ協会豊浦支部が設立され、その後、平成26年4月1日に北海道豊浦アイヌ協会へ組織を改め、これまでアイヌ文化の復興や伝承を図るとともに、礼文華海浜公園や礼文華生活館を活動の拠点としてアイヌの伝統的儀礼を開催するなど、アイヌ文化等の発信を行ってきた。また、豊浦町教育委員会では、年2回、町内外の方に対して文化財をテーマとしたフィールドワーク型の公民館講座を実施している。このほか、礼文華小学校の生徒は、毎年7月に開催される「カムイノミ・イチャルパ」に参加しており、事前学習として、儀式が行われる月に授業の一環で、アイヌ文化や儀式への理解を深めるために学芸員によるアイヌ文化の解説、町外のアイヌ協会から講師を招いての古式舞踊やアイヌの伝統料理を実際に作る調理実習などを行い、町内ではアイヌの歴史や文化を学ぶ機会の充実が図られており、町民の関心が高まりつつある。</p> <p>このように北海道豊浦アイヌ協会等によるこれまでの取組により、町内でアイヌの歴史や文化を学ぶ機会は相当程度あり、町民の関心は高まりつつあるものの、アイヌ関連団体会員の職業や経済的理由により文化伝承活動に専念することができないなど、アイヌ文化等の担い手が不足しており、次世代への円滑な継承が喫緊の課題となっている。</p> <p>豊浦町の基幹産業は一次産業であるが、その中でも水産業が主であり、ホタテ貝養殖漁業が中心となっている。このホタテ貝養殖漁業は、噴火湾沿いの中で本町が発祥の地であり、アイヌの人々が試行錯誤を繰り返し、養殖方法を確立した歴史もある。</p> <p>また、本町における水揚全体の約7割がホタテ貝であるが、近年の原因不明の大量へい死がホタテ貝養殖漁業者にとって死活問題となっている。現在も、漁業協同組合、北海道、関係機関と連携し、原因究明に努めているが未だ解明されていない。</p> <p>このホタテ貝養殖漁業を経営する人の6割以上はアイヌの人々であり、アイヌの人々を含む町民の生活を守るため、また、アイヌ文化を次世代に承継するためにもホタテ貝へい死に係る調査研究を行い、水揚量が安定した暁にはプラン</p>

	<p>ド化を図り、町の産業振興につなげていく必要がある。</p> <p>北海道豊浦アイヌ協会の活動拠点となっている礼文華生活館については、照明設備などが古く、また、一部雨漏りも生じており、日常的な利用や非常時にも支障を来しており、改修への要望も多い。また、「カムイノミ・イチャルパ」の開催場所である礼文華海浜公園は、キャンプ場機能も備えており、夏になると多くのキャンパーが訪れる。このような方たちも含め、町内外の誰もが豊浦のアイヌ文化に触れられ、世界へ発信してもらえるような海浜公園の再整備とともにアイヌ文化伝承活動が急務である。</p> <p>さらに、礼文華地区を拠点とする町内循環型の公共交通網整備と併せ、2020年4月民族共生象徴空間の開業にあわせて多くの観光客が訪れてもらえるよう、また、受け入れるために、象徴空間と当町を結ぶ公共交通の充実や施設の整備を図るとともに、外国人観光客等に対応するため、礼文華海浜公園におけるインフォメーション機能の充実を図るとともに、町内全域におけるさらなるアイヌ文化に対する機運を高める必要がある。</p>
(2)施設等の管理 運営体制	<p>礼文華海浜公園は、豊浦町が管理している。</p> <p>礼文華生活館は、豊浦町が管理している。</p>
(3)アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制	<p>北海道豊浦アイヌ協会、礼文華自治会とは定期的に意見交換を行っている。</p>

8 収支予算

(1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
国庫補助金	49,703,000	226,916,000	0	△ 177,213,000
市町村負担額	12,426,000	56,730,000	0	△ 44,304,000
計	62,129,000	283,646,000	0	△ 221,517,000

(2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
文化振興事業	0	0	0	0
・調査費	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0
・文化振興事業費	0	0	0	0
賃金	0	0	0	0
報償費	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0
工事請負費	0	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0
原材料費	0	0	0	0
・市町村事務費	0	0	0	0
職員旅費	0	0	0	0
地域・産業振興事業	61,643,000	283,646,000	0	△ 222,003,000
・調査費	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0
・地域・産業振興事業費	61,568,000	283,571,000	0	△ 222,003,000
賃金	0	0	0	0
報償費	0	0	0	0
委託料	61,568,000	86,574,000	0	△ 25,006,000
工事請負費	0	127,358,000	0	△ 127,358,000
備品購入費	0	69,639,000	0	△ 69,639,000
原材料費	0	0	0	0
・市町村事務費	75,000	75,000	0	0
職員旅費	75,000	75,000	0	0
コミュニティ活動支援事業	486,000	0	486,000	0
・調査費	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0
・コミュニティ活動支援事業費	486,000	0	486,000	0
賃金	0	0	0	0
報償費	396,000	0	396,000	0
委託料	0	0	0	0
工事請負費	0	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0
原材料費	90,000	0	90,000	0
・市町村事務費	0	0	0	0
職員旅費	0	0	0	0

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比 較 増 減	
			増	減
合 計	62,129,000	283,646,000	0	△ 221,517,000
委託料	0	0	0	0
賃金	0	0	0	0
報償費	396,000	0	396,000	0
委託料	61,568,000	86,574,000	0	△ 25,006,000
工事請負費	0	127,358,000	0	△ 127,358,000
備品購入費	0	69,639,000	0	△ 69,639,000
原材料費	90,000	0	90,000	0
職員旅費	75,000	75,000	0	0